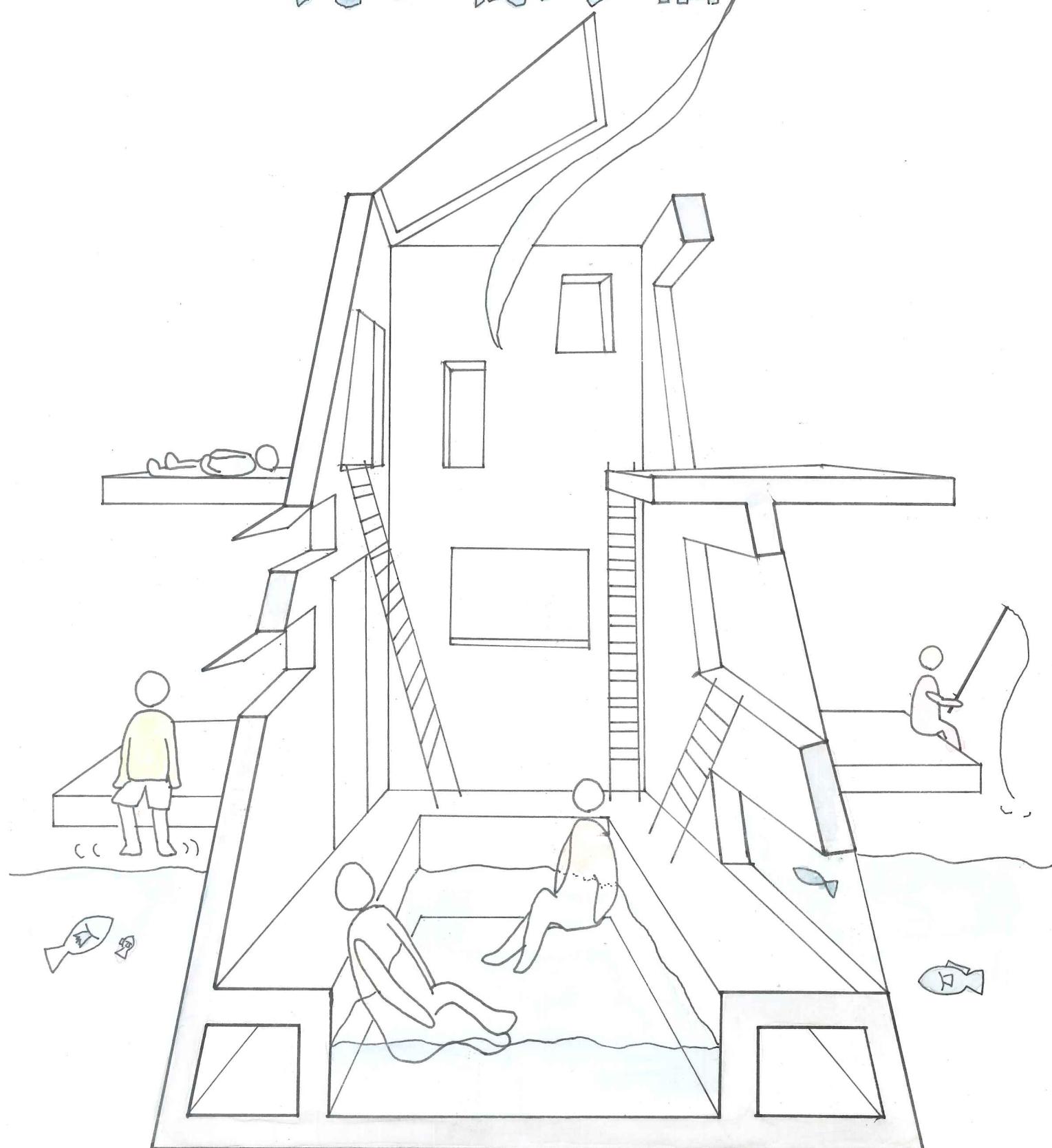


海に漂う宿

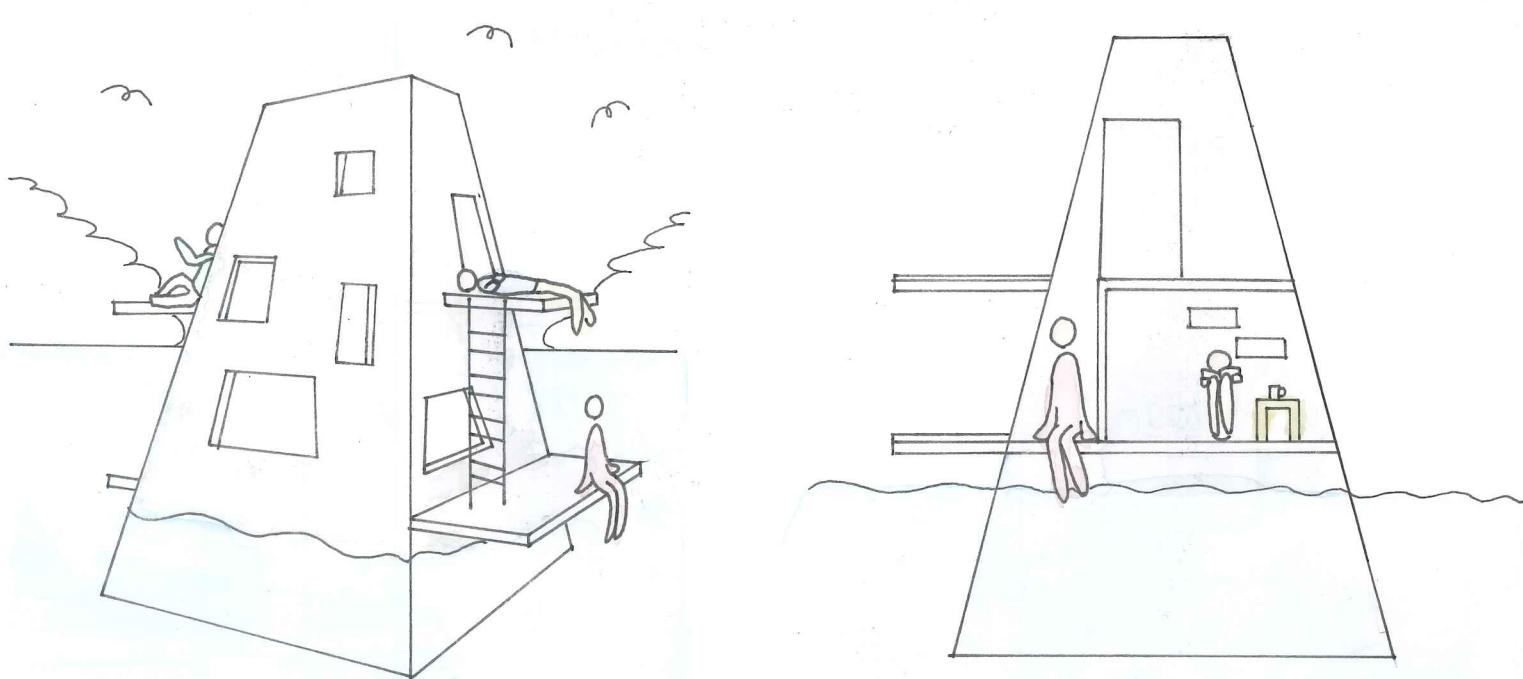


海に漂う宿を提案する。交流も求め、ここを眺め、海と療養を楽しむ。交換の窓口により、人々はここを感じ、そこを楽しむ。また、人々はここを離れて、他の場所で、温泉を楽しむ。それが、この浮遊する温泉を考えた。

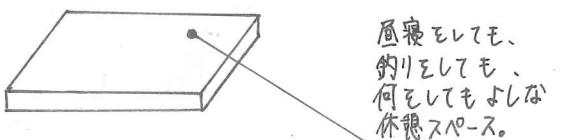
地中に浮遊する。地中の水を1mほど沈め、地中の水を循環する。それを利用して、地中の温泉水を循環させる。地中の温泉水を循環させることで、地中の温泉水を循環させることが可能となる。

波の高さや高低差から、異なる視点での海の感覚を発揮する。また、他の場所で話すことができる仲になる交流の場にならなければいけない。

外気と室内の空気の循環効果について、外気の冷暖かい空気が室内に取り入れられ、室内の空気を循環させる。また、外気の温湿度が低い場合、室内の空気を循環させる。外気の温湿度が低い場合、室内の空気を循環させる。



外の休憩スペース



太陽光発電の利用

海上には、太陽光を遮るものは雲しかないと、発電しやすいといふことと、CO₂を排出せず、地球環境に優しい、薄いため場所をとらないという点だ。

太陽光発電により蓄電された電力はエコキュートを通して水を温めることに利用される。

温泉の空間の中には、海中の温泉を眺める窓がある。窓の外には、海の中でも色があり、景色を楽しむ。また、窓の外には、暖かく柔らかい色に、下を向ければ、冷たくて暗い色に…。その時々の色を感じてほしい。

海を眺める窓と床

